

## ＜大会実施注意事項＞

- (1)2025年5月1日以降から、FCI-IGPの新規程を適用することとなりました。新規程につきましては、  
本会ホームページにてご確認ください。
- (2)一指導手の頭数制限はしません。
- (3)足跡追及競技場への競技日以外の立ち入りは一切禁止とします。
- (4)訓練手帳を必ず持参し受付時にご提出ください。  
(忘れた場合、今大会の競技ポイント並びに大会出場記録は記録されない場合があります。)
- (5)本大会は、前日19日(金)に公開練習を実施します。  
なお、出場犬以外の練習は一切禁止とします。
- (6)出陳受付は公開練習日に行います。
- (7)受付の際に紙ゼッケン、目録並びに記念品を配布します。紙ゼッケンは、大会期間中紛失しないように各自が管理してください。(大会終了後、紙ゼッケンは回収しません。)
- (8)発情犬は、大会受付時に必ず申告してください。  
(大会前でも、発情の兆候が見られた場合、本部事務局までご連絡ください。)
- (9)**出陳犬は、マイクロチップ個体識別(ISO・15ケタ)またはタトゥーの登録(血統証明書の記載)が必要となります。**
- (10)公開練習及び大会期間中の食事についてはご自身でご用意ください。
- (11)成績は各課目70点以上の犬を優先に上位とします。

例)

出場犬	追及	服従	防衛	総合得点	席次
A	72	75	78	225	1
B	90	<u>60</u>	80	230	2

Bの総合得点の方が高いが、服従の点数が70点未満のためAの方が上位となる。

- (12)トレーニングチャンピオンポイント(以下T.CH.P)並びにメジャートレーニングチャンピオンポイント(以下M.T.CH.P)について
- ①Ⅲ総合において、95%以上の得点を得た犬にM.T.CH.Pを10ポイント交付します。
  - ②Ⅲ単課目において、95%以上の得点を得た犬にT.CH.Pを10ポイント交付します。
  - ③アペンディクス登録犬に交付されたM.T.CH.P及びT.CH.Pは無効となります。
- (13)キャシト(以下CACIT)について
- ①Ⅲ総合の1席犬で、得点が270点以上の場合にCACITが付与されます。
  - ②①の該当犬がインターナショナルワーキングチャンピオンの資格条件を達成している場合、次席犬にリザーブキャシト(以下R.CACIT)が付与されます。
  - ③アペンディクス登録犬に交付されたCACIT及びR.CACITは無効となります。
  - ④CACIT及びR.CACITは当日仮証を発行し、後日FCIによって承認されたものは本証が発行されます。
- (14)1頭で単課目を2クラス出陳される場合、記念品は1つとさせていただきます。

## ＜スケジュール表＞(予定)

6月19日(金)	受付	⇒午前9時～	(ホテルこわしみず前)
	公開練習	⇒午前9時30分～午後4時	( " )
6月20日(土)	足跡追及	⇒午前5時～	(追及作業会場)
	印跡開始	⇒午前6時～	( " )
	競技開始	⇒午前7時～	(ホテルこわしみず前)
6月21日(日)	服従作業	⇒午前7時～	(ホテルこわしみず前)
	防衛作業	⇒午前7時～	(ホテルこわしみず前)

※スケジュールは、出場頭数によって変更となる場合があります。(足跡追及を6月19日(金)と6月20日(土)に分けて行う等)

※裏面もご参照ください。

## <2026FCI-IGPワールドチャンピオンシップ派遣について>

2026FCI-IGPワールドチャンピオンシップが本年9月7日（月）から13日（日）にポーランドにおいて開催されます。この競技会への派遣については、次の通りとします。

なお、今後のロシア・ウクライナ情勢・イラン情勢の状況によっては、日本からの出場申し込みを行わない場合がありますので、予めご了承ください。

- (1)ワールドチャンピオンシップ出場を希望する 2026年FCI-IGP競技大会出陳犬の中から原則、競技成績が280点以上（各課目70点以上獲得犬）の成績上位5頭より選考する。
- (2)派遣は1指導手1頭とする。
- (3)指導手が所有者（クラブ会員）の家族の場合、本会に入会することとする。
- (4)派遣者本部助成は、指導手と派遣犬の宿泊費のみとする（出陳料は本部負担）。
- (5)競技成績が280点に満たない場合、総合得点を鑑みて、各課目70点以上を条件に最大5頭を本部助成なしの派遣とする場合がある。

## <2027FCI-IGPワールドチャンピオンシップ派遣について>

2027FCI-IGPワールドチャンピオンシップへの派遣は次の通りとします。

ワールドチャンピオンシップ出場を希望する 2026年FCI-IGP競技大会出陳犬の中から原則、競技成績が280点以上（各課目70点以上獲得犬）の条件を満たした成績上位5頭より選考する。